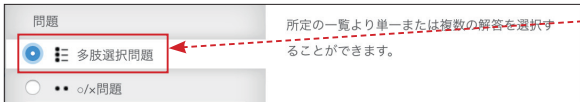


2. コースを編集する

2.3.2.1 多肢選択問題を作成する

多肢選択問題とは、学生が正答を選択する形式の問題です。2種類の多肢選択問題（単一解答、複数解答）があります。



①問題タイプ選択画面から「多肢選択問題」を選んで「追加」ボタンを押します。

②表示された画面で下の項目を選択・入力します。

- (i) **カテゴリ**：この問題を登録する問題バンクのカテゴリを選びます。
- (i) **問題名**：問題の名称を入力します。
- (ii) **問題テキスト**：問題文を入力します。画像を挿入することもできます。
- (iii) **デフォルト評点**：正答に対する評点を入力します。
- (iv) **全般に対するフィードバック**：受験し終えた学生に表示するコメントを入力します。選択肢ごとになされるフィードバックとは異なり、すべての学生に表示されます。例えば、問題をよりよく理解するための参考情報へのリンクを示すこともできます。
- (v) **単一または複数解答?**：選択肢のうちから一つのみを選ばせるか、複数を選ばせるかを選択します。
- (vi) **選択肢をシャッフルしますか?**：ここにチェックを入れると、受験ごとに選択肢の順番がランダムにシャッフルされます。このマニュアルの13頁に記した小テスト設定の「問題内部をシャッフルする」をYesにしておく必要があります。
- (vii) **選択肢に番号付けしますか?**：選択肢の頭に「a. b. c.」や「1. 2. 3.」を自動で表示させます。

2. コースを編集する



- (viii) **選択肢 1～**：問題に対する解答の選択肢と、その解答を選択した場合の評点の割合 (-100%～100%)、各解答に対する学生へのフィードバック（その選択肢を解答した学生に表示するコメント）を入力します。例えば、15 頁の「デフォルト評点」を 10 点としていた場合、選択肢 1 の評点を 50% にすると 5 点が得点となります。フィードバックには、誤った選択肢を選んだ場合に表示する正答の解説文や、テキストの〇〇頁を参照するようになどの指示を入れておくといでしょう（必須ではありません）。



- (ix) **総合フィードバック**
選択肢個々ではなく、「すべての正解」や「すべての部分的に正しい正解」、「すべての不正解」に対してコメントを返す場合にはこの欄に入力します（入力しなくても構いません）。



- (x) **それぞれの不正解に対するペナルティ**：
小テストの設定で「アダプティブモード」を選択している場合、学生は受験の最中でも複数回の解答を行うことができます。例えば、学生の解答が間違っている場合、学生はすぐに解答しなおすことが許されます。その場合、2 回目以降の解答で正答した場合に評点を下げることができます。例えば、問題の正解が 3 点、ペナルティが 33.33333% の場合、学生は 1 回目の解答で正解すれば 3 点を獲得します。2 回目の受験で正解した場合は 2 点を、3 回目の受験で正解した場合は 1 点となります。また、それぞれの解答回数毎にヒントを表示させることもできます。

③作成後「変更を保存する」を押して終了します。

変更を保存する

キャンセル